

1/26 海洋教育フォーラム 各学校の発表より その4

⑪ 初声中学校2年生 「私たちが学んだ海」

海洋学習係が飼育したウナギやウニ(自分たちが捕まえてきたもの)について、調べたことを発表しました。総合的な学習の時間の、海の環境を考えたボランティア活動や、東京大学三崎臨海実験所での職場体験、そして、理科の時間のイカの解剖についても触れていました。



⑫ 南下浦中学校ハンディクラフト部



「海の食材を使用した簡単朝食レシピ作りと簡単朝食づくり講習会」
三浦市の特産の海の食材を使用した、「ワカメごはんのおにぎり」や「ジャコチーズワカメパン」に挑戦して、そのレシピも作りました。そして、全校の希望者を対象に、講習会を開き、好評をいただいたそうです。この日は、そのレシピを参加者に配り、おにぎりやパンの実物も紹介していました。

⑬ 県立海洋科学高校

「相模湾東岸に位置する小和田湾の環境保全と改善の取組」

平成17年から行ってきた小和田湾でのアマモの移植活動や毎週行っている水質調査などについて、高校生らしい内容の発表でした。取り組んでいるキャベツウニや、食害の原因として厄介者扱いされているアイゴを有効活用したバーガー作りなどにも触れていました。



各校の発表後、三浦市の吉田市長が、「みなさんの発表に感心し、感動しました」という評価をいただきました。

また、「三浦市から神奈川県、日本、世界へと、海洋教育を広げて行ってほしい」「みなさんが皮切りになってほしい」「海の町に生まれたのだから、海の大切さ、海のことを知らせていってください」と呼びかけと励ましをいただきました。

最後に、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターの川上特任研究員が「発表は素晴らしかった」「海を知ることそのものも面白いし、海を知って、今日のように発表したり、交流することも大切」「海の勉強をすることによって、いろいろなつながりが見えてくる、そのつながりを考えることが大切」「これからも海洋教育を続けてほしい」という講評をされました。



(文責 事務局長 渋谷)